



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX0987-22-9588 会長 竹井崇利

ロータリー財団月間

第 3179 回例会	No.19	2018. 11. 14	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分 「我等の生業」		
四 つ の テ ス ト	落丸正博 君		
例 会 行 事	結婚・誕生者卓話（本日は誕生者）		

会長時間

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

事業の使命：将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

特徴その 1：世話クラブ・カウンセラー制度（顔の見える交流を大切にしています）

奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、実業人・専門職業人であるロータリーアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。したがって、米山奨学生には奨学金を受け取るだけでなく、交流を大切にする姿勢が求められます。

特徴その 2：事業規模の大きさ（国際奨学事業としては民間最大）

2018 年度の奨学生数は 852 人、事業費は 14 億円と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で 20,396 人です。その出身国は、世界 127 の国と地域に及びます。

国・地域別人数

- 1 位：中国 累計 6,881 人 34% (20,396 人に対して)
- 2 位：韓国 累計 4,481 人 22%
- 3 位：台湾 累計 3,486 人 17%

学友会とは

米山学友（元奨学生）と現役奨学生によって組織される会です。現在、日本に 33（34 ロータリー地区）、海外に 9、計 42 学友会があります。学友会は、奨学期間終了後もロータリーとの絆を結び、学友同士の友情を深める役割を果たしています。

寄付について

- ① 普通寄付金：2017 年度平均は 4,797 円（日南 RC クラブは 3,000 円/人）
 - ② 特別寄付金；2017 年度平均は 11,271 円
- 合計 16,068 円
 2730 地区の個人平均寄付額は 10,170 円

幹事報告

- 1) 日南振徳高校より、振徳通信が届いております。
- 2) 例会後の臨時理事会の件

委員会報告

親睦委員会 誕生者 鬼東忠男君（1950）宮田真一郎君（1960）日高章太郎君（1952）磯上照男君（1956）

古澤昌子君 (1966) 村社浩二君 (1969)

スマイル

竹井・山口君 10月24日100%例会出席有難うございます。

小玉淳君 ホームクラブ例会を2週続けてお休みを頂き、東京で職に就いた孫の所から、兵庫、滋賀、京都で、娘たちへの家庭訪問、知恩院でのお墓参りをして来ました。こちらでは味わえない紅葉を楽しめました。毎日10000歩以上歩いたのですが、体重増加!

井野畑善順君 11/11(日)串間RC創立30周年記念式典祝賀会の後の二次会に、土屋、日高、河野、竹井、落丸、豊田、井野畑の7名で、はま寿司に行きました。その時の残金をスマイルします。私は三次会、四次会まで付合いましたが、2名ほど五次会に行った人もいました。

阿部政廣君 去る11/3(土)に開催された「しんきんチャリティーウォーク」の記事が、宮日に掲載され、スタート前の挨拶と抽選会で特等を授与する写真が載りました。こどもの国を発着点に青島を一周する約5キロのコースでしたが、爽やかな秋晴れの中、1200人の方々に楽しんで頂きました。

例会行事

誕生者卓話

鬼束忠男君



1950年11月8日・昭和25年生まれです。68歳になりました。入会は、12月で11年になります。

1950年の出来事といえば、1000円札が発行・第1回さっぽろ雪祭り開会、プロ野球初の日本選手権・そして、朝鮮戦争です。1950年6月25日から1953年7月27日まで3年余りにわたり、朝鮮半島のほとんど全域を戦場かしたということです。今、和平に向かっていますが、私も願っているひとりです。流行ファッションでは、ビニールレインコート、パーカー万年筆などです。ずいぶん、前の事で年を感じているところです。

人は、2回死ぬといわれています。1度目は、肉体の死、そして、2度目は、人びとの記憶から忘れ去られる記憶の死ということです。

インドの政治指導者・マハトマ。ガンジーは、「明日死ぬと思って生きよ、不老不死だと思って学べ」といっています。自分はいったいどのくらい生き続けるのだろうか、自分に問いかけても答えは出ない。平均寿命を知っていても、自分の寿命は誰にも分からない。分からないからこそ、一日一日を後悔のないように精一杯生きたいです。

今、日本人の平均寿命が過去最高を更新しています。「平成29年簡易生命表」によると、男性は81.09歳、女性は87.26歳ということです。

ちなみに、健康寿命は、男性72.14歳・女性が74.79歳となっています。まだ、その年には、遠いですが、健康で「人生いつもこれからだ!」の思い出があります。人間は、楽しむ為に生まれてきたのです。

今日は、誕生日プレゼントありがとうございました。

磯上照男君



本日は有り難うございました。

私は、1956年(昭和31年)11月15日生まれです。誕生日がくれば62歳になります。「もはや戦後ではない」と言われた世代であります。

誕生卓話には、あまり関係はありませんが、今は亡き母の話をしたと思います。

やんちゃで無鉄砲であった小学2年生の時、(1964年=昭和39年)東京オリンピックが開催された年であります)新しい靴がほしいがために、はき慣れた運動靴を海に投げ捨てたところを母に見られたことで、私はひどく叱られました。

今から半世紀、50年程前のことである。その時の記憶をゆっくり紐解いていくと、母は次の様な言葉を反省不十分な私に発していた。(一緒に読まれた)

母は一冊の分厚い本を開き、『自分の行いはたとえ人が見ていなくても、良い行いは御天道様が見ている。悪い行いは閻魔様が見ている。良い行いを人が褒めてくれないからしない、或いは悪い行いをして、人に見つからなければ良いというのではない。人は四方八方の人間関係の中にあるが、天と地という絶対的な真理の中に自分の行動規範を定めなさい。また、今の自分は今までの自分の「行い」の結果であり、今からの自分の基になるのだから、その時その時の「今」を見失ってはいけない!』……………。

現在、母が生きておれば92歳です。「今」を見失うことなく、年を重ねていきたいと考えております。

わかば奨学生の礼状披露

先日10月30日に、わかば奨学生を授与された、日南看護学校の清水千夏さんと日南高校の古川彰悟君から、礼状が届いていますのでお披露目します。

日南看護学校 清水千夏さん



先日は、奨学金を授与していただき誠にありがとうございました。

今回私は、ロータリークラブの皆様がこのような活動を行われていることを初めて知り、本当にすごい事だと思いました。これから目標を達成して、社会の中で働いていく中でたくさんの事があると思います。しかし、その時に、皆様のような方々に支えて頂いたことを忘れずに、皆様のような社会の為に貢献できるような、大人になりたいと思います。

この度は本当にありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

日南高校 古川彰悟君



この度は、「わかば奨学金」をありがとうございました。今後は、これを励みにしてより一層精進していきたいと思います。そして、地元に貢献できるように頑張りたいと思います。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
前々週 10/31	35	2	33	27	6	0	33	100%
今 週	35	2	32	23	5	5	28	84.84%
出席免除	古澤、渡邊							
先々週MU	菊池、桑村、小玉、清水、山口、榎木田							
先取MU	菊池、田島、日高、村社、豊田							
欠 席	峰松、榎木田、古里、野崎、宮田							

事務局 〒887-0001 日南市油津 3-11-17 油津海友会館 2階 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：竹井崇利 副会長：山口秀一 幹事：山口秀一 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。